

釣塔大学新聞

学長は無事退院

学長の釣り宣言に不信感

先月十六日から釣塔大学医学部附属病院に入院されているアルフレード・ガッチャピン氏であるが、十日、無事ご退院された。

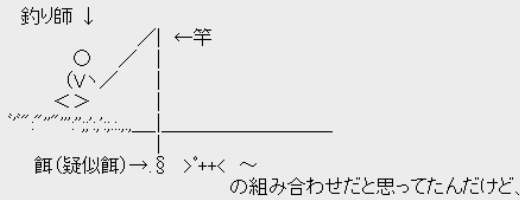
学長はこの一件について「釣りでした。引つかかってるやつ大杉テラワロスおちんちんびろーん。私がブルセラ症なんかに感染するわけがないじゃないですか。」と語っているが、附属病院の職員らによる聞き込みで入院は事実であることは間違い

ないので、自称釣師のコピペ(左)のような状態なのではないかと噂されている。学生層だけでなく教授陣からも「レベルが低すぎる。」「なんてぞまだ。」など学長の対応を批判する声が上がっている。これらの反応を受けても学長は十一日正午現在、一貫して釣りであるとの態度を続けている。

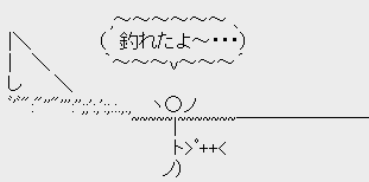
本格焼酎

大陰唇

スレと関係ないんだけどさ、俺「釣り」とか「釣り師」っていうのは、



最近自称釣り師がダイレクトで自分の本音を攻撃されて「釣れた!」とか言ってるの多いよね。これは、どっちかという



かと思うんだけど、どうよ?

上: 例のコピペ

welcome

MONARLAND

RO を販売停止に追い込んだ人物を特定

釣塔大学でも愛読者が多いといわれるコミックRO。先月ネットでの申し立てにより、ネットショップピングの老舗であるアメゾンがROの販売を停止したのは記憶に新しい。八日、ソーシャルメディア 学術学部の馬場安智さんがこの申し立てをした人物を特定したと発表した。馬場さんは、水遁される恐れがあるため詳細を明かすことはできないとしたが、申し立てをした人物は埼玉県在住の六十代の女性であるということを明らかにした。この女性には様々な規制をすることがよいことであると信じ込んでいるようであり、このROの販売停止もこの活動の一部の影響であるとのことだ。馬場さんは学業に励む傍ら、このROに漫画を連載しており、それだけROに対する思い入れが強かったと話している。

これからはネット上で有志を募り、アメゾンでのROの取り扱い再開に向けて活動を始めていくことだが、販売が再開される可能性は低いのではないかとわれている。

露草留紺流

前号に引き続き、サークルの引退について取り上げる。前号は引退による事後の弊害をピックアップしたが、引退する人たちはどのように考えているのだろうか。代表として近未来スポーツ学部スポーツ科学科3年の飛白くんに話を聞いた。飛白くんは空を飛部の部長を務めており、就職活動のために今年度でサークルを引退する。飛白くんは、引退についてどう考えていますか、という質問に対して「三年間一度も結果を残せずに引退することは悔しいですが、(空を飛部の)みんなと過ごせて楽しかった」と語った。

フィッシング研究学部が釣り実験開始

今月八日、フィッシング研究学部によって大規模釣り実験が開始された。この実験は、よく釣れる時間帯、ネタ、流れなど、様々な要因を研究し、釣りの技術を高めることを目的としている。

具体的な実験方法は、様々なスレッドにネタと釣り宣言専用ページに誘導するURLを貼付するというものだ。釣り宣言ページには、釣ら

壁殴り代行 岩流庵

一時間二〇〇円

統計がとれるほどのデータが集まるのには二か月ほどかかると思われるが、この実験が成功すれば釣りの技術は飛躍的に向上するものと思われる。